

うどんげ
「優曇華の花が咲くときは」

あらすじ

雲が深く垂れ込めた満月の夜。真理亜は恋している麻郁に会えるよう譲二に頼んでい
た。実は譲二は真理亜に恋しているのだが、つい真理亜の頼みを引き受けてしま
う。真理亜のもとに学生時代の友人、絵美里が急に訪ねてきた。真理亜は絵美里に帰っ
てもらうことにする。やがて麻郁がやってきた。ちょうど家を出た絵美里に、真理亜と
間違っつて声を掛ける麻郁。麻郁を助けるために現れた譲二に、絵美里は一目惚れして
しまう。

絵美里が去ったあと、ようやく麻郁が真理亜に声をかける。口下手な麻郁は、譲二が
教えるとおりの言葉をしゃべる。しかし麻郁は緊張のあまり腹痛をおこし去ってしま
う。麻郁の代わりに闇の中から恋を語る譲二。譲二は自分自身の恋心を語るが真理亜
はそのことに気が付かない。麻郁が戻ってくる。また譲二に教わったとおりに語る麻
郁。真理亜はそれが麻郁の言葉では無いことに気づく。そこへ絵美里が譲二を捜しな
がら戻ってくる。逃げる譲二。追いかける絵美里。自分自身の言葉で真理亜にせまる
麻郁、拒む真理亜。